



新緑が眩い季節になりました。園内では野鳥のさえずりが賑やかになってきました。キビタキ、ホトトギス、ツツドリ、クロツグミなどの夏鳥の飛来も確認されています。花ではヤマボウシ(写真2)やコアジサイ、ハコネウツギなどが咲き始めました。

★見どころ情報

ユリノキ(百合の木)モクレン科ユリノキ属(写真1左上)

花の様子からユリノキと呼ばれ、チューリップツリーとも呼ばれる北米原産の落葉高木です。また特徴的な葉の形を半纏に見立てハンテンボクとも呼ばれます。5~6月、枝先に径5~6cmの黄緑色の花をつけ、内側にはオレンジ色の斑紋があります。花弁状の内花被は6枚あり、外側の3枚は萼状で緑白色を帯びます。蜜が非常に多く、花の中に溜まるほどです。日本ではユリノキの仲間の化石が発見されています。

場所: 苗畑, 出合いの広場, 見本園

カルミア ツツジ科ハナガサシャクナゲ属(写真1右上)

ハナガサシャクナゲやアメリカシャクナゲとも呼ばれる北米原産の常緑低木で公園や庭に利用されます。カルミアの名は、“分類学の父”と称されるスウェーデンの学者カール・フォン・リンネの弟子でスウェーデンの植物学者のペール・カルムにちなみます。五角形の独特な花を咲かせ、花の内側にはリング状の模様が入ります。蕾も金平糖に似た独特な形です。

場所: 多目的広場

この他、アジサイ科ウツギ属のウツギの品種で花弁の外側がピンク色を帯びるサラサウツギ(写真1)や、同科バイカウツギ属のバイカウツギ(写真2)、レンプクソウ科ガマズミ属のガマズミ(写真2)、同属で装飾花のあるカンボク(写真1)他、たくさんの花が見られます。

草本では、キク科のニガナ(写真3)、オニタビラコ(写真3)、ジシバリ、ハハコグサや、アヤメ科で帰化植物のニワゼキショウなどが咲いています。

また、中水池や防火水槽ではモリアオガエルの卵塊(写真3)が数多く見られます。

★見頃状況まとめ

咲き始め	ヤマボウシ(写真2), ウツギ(写真1), サラサウツギ(写真1), コアジサイ, サツキツツジ, ヤマトツツジ, バイカツツジ, ガマズミ(写真2), センダン, イボタノキ, クスノキ, ハコネウツギ, ニワゼキショウ 他
見頃	ユリノキ(写真1), カルミア(写真1), カンボク, (写真1) バイカウツギ(写真2), ツブラジイ(写真2), スダジイ, ストエカスラベンダー(写真3), コガクウツギ, シャリンバイ, エゴノキ, ニガナ(写真3), オニタビラコ(写真3), ジシバリ, モリアオガエル卵塊(写真3) 他

園内の見どころ情報はツイッター及びインスタグラムでも確認できます。メールマガジンよりも早くお知らせできることが多いのでぜひ下記 URL からご覧ください。  
ツイッターアカウント名: @Ryokkacenter <https://twitter.com/ryokkacenter>  
インスタグラムアカウント名: kanriryokka <https://www.instagram.com/kanriryokka/>  
フォローよろしくお願ひします。  
園内の開花情報や野鳥等の写真を随時掲載していきます。ぜひご利用ください。



写真1左上 ユリノキ (苗畑) H30.5.19



写真1右上 カルミア (多目的広場) H30.5.19



写真1左下 カンボク (わんこひろば) H30.5.19



写真1右下 サラサウツギ (苗畑) H30.5.19



写真2左上 ガマズミ (学習展示館前) H30.5.19



写真2右上 バイカウツギ (苗畑) H30.5.19



写真2左下 ヤマボウシ (レストハウス前) H30.5.14



写真3右下 ツブラジイ (第4駐車場) H30.5.19



写真3左上 モリアオガエル卵塊（中水池） H30.5.19



写真3右上 ストエカスラベンダー（温室前） H30.5.19



写真3左下 ニガナ（管理事務所前） H30.5.19



写真3右下 オニタビラコ（管理事務所前） H30.5.19